

FortiAnalyzer Ver.5.0Patch4 Information



改訂履歴

発行年月	版数	改版内容
H25.11	第 1.0 版	初版発行

目次

1. はじめに.....	4
2. アップグレードパス.....	4
3. v4.0MR3 からのバージョンアップ注意事項.....	5
4. FortiOS サポートについて.....	7
5. 推奨 Web ブラウザ.....	7

1. はじめに

本マニュアルは FortiAnalyzer の OS バージョンを弊社推奨バージョン Version5.0Patch4 へアップグレードする際の注意事項について記載しています。

具体的なアップグレード手順については、以下のバージョンアップ手順書を参照ください。

<http://gold.nvc.co.jp/supports/fortinet/OS/>

2. アップグレードパス

現在ご利用の OS バージョンによっては、バージョンアップを段階的に行う必要がございます。下記のアップグレードパスをご参照いただき、ご利用バージョンに合わせたバージョンアップ手順を行ってください。

現在の利用バージョン	→	経由バージョン		→	ターゲットバージョン	
Version4.0 MR3 Patch5 ~ Patch7		Version5.0Patch1			Version5.0Patch4	
Version4.0 MR3 Patch3	→	Version4.0 MR3 Patch4	→	Version4.0 MR3 Patch5	→	Version4.0 MR3 Patch7
Version4.0 MR3		Version4.0 MR3 Patch1		Version4.0 MR3 Patch2		Version4.0 MR3 Patch3
Version4.0 MR1 Patch5 以上	→	Version4.0 MR2 Patch6		→	Version4.0 MR3 Patch7	
Version4.0 MR3	→	Version4.0 MR3 Patch1	→	Version4.0 MR3 Patch2	→	Version4.0 MR3 Patch3

注意：バージョンアップ後に SQL ロギングを無効の設定にしている場合は CPU が高騰しますが、機器の動作に問題はございません。以下をご参照ください。

http://gold.nvc.co.jp/supports/fortinet/tech/FAQ/copy_of_FAQ_html#管理15

3. v4.0MR3 からのバージョンアップ注意事項

注意:下記は v4.0MR3patchX から v5.0patch4 へアップグレードする際に発生する項目です。

v4.0MR3patchXからver5.0Patch4へアップグレードする際に、引き継がれる設定と、引き継がれない設定がございます。具体的な設定部分につきましては下記をご参照下さい。

3.1 設定が引き継がれるもの

アップグレード後、以下の設定は引き継がれます。

host name
config system interface
config system route
config system dns
config system sql
config log setting

【アグリゲーションとコントローラモードの設定】

アップグレード後、アグリゲーションとコントローラモードの設定も引き継がれます。

【デバイス設定】

FortiGate, FortiCarrier, FortiMail, FortiWeb は FortiAnalyzer v5.0 Patch Release 4 でサポートされており、アップグレード後もデバイス設定は引き継がれます。その他のデバイスは FortiAnalyzerv5.0 でサポートされておりません。

【FortiGate HA 機器について】

アップグレード後、Fortigate の HA 機器はデバイス管理で個別のデバイスに分離します。分離したデバイスはスタンドアローンのデバイスのように見えます。v4MR3 の FortiAnalyzer では HA 機器が 1 デバイスとカウントされるため、登録デバイスの数が最大値に到達する可能性がございます。

IPsecVPN を使用して Fortigate の HA 機器から FortiAnalyzer へロギングしていると、failover 発生時に食い違った接続となってしまいます。

【ログ】

アップグレード後、FortiGate, FortiCarrier, FortiMail のすべての raw log ファイルは引き継がれます。

しかし、FortiMail のログを LogView からログを閲覧することができなくなる可能性がございますので事前に Fortimail のログをバックアップしてからアップグレードを実施して下さい。

3.2 一部の設定が引き継がれるもの

[Administrative Domains (ADOMs)]

FortiAnalyzer v4.0 MR3 で ADOM が有効になっていた場合、アップグレード後に ADOM は再構築されませんが Fortigate デバイスは ADOM に割り当てられません。FortiAnalyzer v5.0 へアップグレード後に、デバイスを特定の ADOM に割り当てる必要があります。

[LogReport]

FortiAnalyzer v5.0 Patch Release 4 は PDF レポートのみ引き継ぎます。FortiAnalyzer v4.0 MR3 の PDF レポートはアップグレード後もレポート履歴から確認できます。

3.3 設定が引き継がれないもの

以下の設定はアップグレード後に引き継がれないので、再設定する必要があります。

- ・RADIUS server
- ・TACACS+ server
- ・Authentication group
- ・Admin users
- ・Profiles
- ・Pre-login banner
- ・Post-login banner
- ・SNMP settings
- ・Alert event
- ・Syslog server
- ・Default device allocation space
- ・Report remote output
- ・Per device IPsec tunnel configuration
- ・FortiAnalyzer v4.0 MR3 レポートレイアウト、チャート、データセットも引き継がれません。

4. FortiOS サポートについて

FortiAnalyzer v5.0 Patch4 は以下の FortiOS をサポートします。

- FortiOS v5.0.0 Patch 1 - 4
- FortiOS v4.0 MR3 Patch Release 2 以上
- FortiOS v4.0 MR2 and all Patch Releases

Fortianalyzer の verup 手順書は別途ご案内致します。

5. 推奨 Web ブラウザ

FortiAnalyzer v5.0 Patch4 での推奨 Web ブラウザは下記の通りです。

- ・Microsoft Internet Explorer versions 9,10
- ・Mozilla Firefox version 23
- ・Google Chrome version 29

上記以外のブラウザを利用する場合、動作は保障致しかねます。

以上